

断面 22 R_C

弱乾性赤色土



母材料：花崗岩

採取地：三重県上野市安場 民有林

海拔高：255 m

地 形：山頂緩斜面の肩

方 位：N 8°W

傾 斜：5°

林 相：アカマツ天然生林（アカマツ・ソヨゴ・
クリーネズミサン）

断面記載：

F-(H) 1~2 cm アカマツ、広葉樹、ササ
等の腐葉堆積。

(A)-B 10 cm 褐~明褐色 (7.5 YR 4.5/6),
腐植を含む, 細礫あり, 埴質壤土, 堅果
状および粒状, 堅, 乾, 細根多し, 腐根
孔あり, 次層との境界は明。

B 15~20 cm 赤褐色 (2.5 YR 4/7),
腐植に乏し, 細礫あり, 埴質壤土, 堅果
状, 堅, 潤, 細根あり, 中根まれ, 次層
との境界は判。

B-C 20 cm + 赤褐色 (2.5 YR 4/8), 腐
植に乏し, 細礫に富む, 埴質壤土, 壁状,
堅, 潤, 細根ならびに腐根まれ。

採取年月日：1965年3月10日

わが国の暖・温帯にみられる赤色土は一般に表層の発達が悪く、土壌中の腐植含量は少ない。また、土色は土層の下部にすすむほど濃色になる傾向が認められるが、粘土や2・3酸化物の顕著な移動は認められない。全土層を通じてカオリン鉱物および含水酸化鉄鉱物には富むが、塩基置換容量は比較的小さく、塩基含量とくに石灰分に乏しく、強酸性で、相当塩基洗脱のすすんだ特徴を具えている。

この断面は花崗岩を母材とした赤色土で、基岩の相当深いところまで赤色風化をうけている。

表層は淡く、やや腐植で汚染されており、地表から深さ 30 cm ぐらいまで細かい堅果状構造が発達している。細分すれば弱乾性赤色土 (R_c 型土壌) に属する土壌である。

土層は全体に堅密で理学的によくはない。粘土鉱物はメタハロイサイトが主である。

天然植生はアカマツ林であるが、この断面のところは赤色土としては比較的よい方であり、アカマツの天然更新、時にクロマツの人工造林などによる施業が可能であるが、林地肥培、肥料木混植等地力維持に対するくふうが必要である。



採取地の地形

層 位	C %	N %	C/N	pH (1:2.5)	置換酸度 Y ₁	C E C m.e	置 換 性		Ca/CEC
							Ca	Mg	
(A)-B	2.1	0.10	21	4.2	45.6	19.50	0.44	0.74	2.3
B	0.2	0.07	3	4.3	50.0	18.08	0.19	1.40	1.1
B-C	0.2	0.02	10	4.5	22.0	10.51	0.20	0.91	1.9

層 位	土壌中の細粒 (0.2~0.1 mm) の鉱物 100分比					土壌中の粘土鉱物		
	石 英	長 石	雲 母	角 閃 石	火山ガラス	加水ハロイサイト ・ハロイサイト	メタハロイサイト	14~15 Å 鉱 物
(A)-B	27.3	9.9	46.2	1.7	14.9	+	++	
B	11.0	4.4	81.6	1.5	1.5	+	+++++	
B-C	7.1	2.0	89.9	1.0		++	+++++	